

(2) 社会を学習すると・・・

自分の住んでいる地域から世界まで、位置関係や地名、地域の特色、生活している人々の様子などを知り、社会に出たとき生かすことができる。

違った国の違った文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重しあう気持ちを深めることができる。

先人の業績を知り、将来の生活や生き方に生かす力を身に付けることができる。

歴史的な観点から、日本と諸外国との関係をつかむことができるようになる。

どんな権利や義務があるのか、政治や経済の仕組みがどうなっているのか、実生活に生かせる国民としての基本的な知識を身に付けることができる。

国際社会の一員として、活躍するための知識を身に付けることができる。

< 具体的な学習方法 >

授業の受け方	<p>前の時間の内容を確認し、その日のめあてをしっかりとつかむ。 分からないことや疑問に思ったことなどを進んで質問する。 間違いを気にせず、自分の考えをはっきり述べる。 調査活動などでは、調査方法を工夫して意欲的に取り組む。 討論やディベート、話し合い活動等に積極的に参加する。 ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。 板書以外のことを（先生や友達の発言など）もメモする。 特に地理的分野では、地図帳の資料を大切に活用する。 歴史的事象（出来事）を他の事象との関連を考えながらおさえる。 公民的分野では、日常生活との関わりを考えながら学習する。</p>
家庭での学習の仕方	<p>【予習】 教科書をよく読み、疑問点や分からない語句を確認する。 重要な語句をチェックしたり、ノートに書き出したりしておく。 【復習】 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返る。 その日に学習した用語や地名、人名、出来事の名称などを確認し、色分けや図式化など、工夫してまとめる。 問題集などで基礎的・基本的内容をおさえておく。 間違えた部分をノートにまとめる。 授業で学習した内容をワークで復習する。</p>
効果的なテスト勉強法	<p>授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題を、もう一度解いてみる。 一問一答式で友達と問題を出し合う。 間違えた部分をまとめたノートの内容と確認するなど、重要な語句を確実に覚える。</p>
ワンランクアップするために	<p>自分で用語カードを作り、機会あるごとに見て覚える。 地名や場所や出来事の暗記以外に、説明できるようにしておく。 地名や場所を必ず確認して、位置関係を把握しておく。 自分なりの年号の覚え方（語呂合わせ）を工夫する。 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、世の中の出来事に興味をもつ。 社会科に関係のある番組や本などを、積極的に見たり読んだりする。 図書館や博物館などの施設を訪ねてみる。 教科書の本文だけでなく、資料や地図、グラフ、写真なども注意して見ておく。</p>